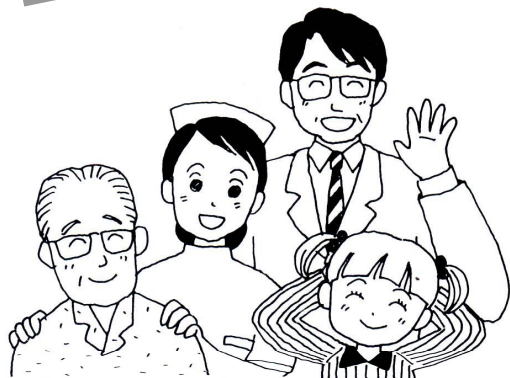


初の臨時市議会
が開催されました

民主的で暮らしを守る市政を求め 日本共産党議員団が質問



野洲市になり初めての臨時市議会が8日に開催されました。議案は新市の184本の条例とこれに伴う暫定予算です。日本共産党議員団は、民主的で暮らしをまもる野洲市をめざし質問をおこないました。また同日には、議会人事もおこなわれましたが、公平な人事を求める日本共産党議員団の主張に反し、保守系会派は少数意見を排除する非民主的な運営を強行しました。

市民本位の野洲市のスタートを

小菅六雄

暮らしの施策前進と同和行政の終結

新市条例一八四本が一括提案(専決処分)されました。小菅市議は、新市のスタートに際し、市民本位のまちづくりや暮らしをまもる市政について質問。これまでの二町の歴史と伝統を継承しながら、新市の基本は、民主的な行政運営と暮らしを守る市民本位の市政が求められていることを主張しました。

新条例では、住民の世論と運動、また、日本共産党の議会での要求で、乳幼児医療費の無料化の拡大、介護激励金の拡大、中学校給食の実施の方向など、市民の願いに応えた部分について評価。一方、同和行政は、旧中主町でも旧野洲町でも長年の住民の努力で終了すべき段階にきています。しかし、新市では旧野洲町の方向を継続させることについて、公平で民主的な行政に反することを明らかにし、関連条例の廃止を求めました。

予算の主体は市民を基本に

野並享子

市民の負担強化の二町予算継続を改め 国保税・介護保険料値上げやめよ

来年三月までの一般会計などの暫定予算が提案されました。予算の基本は、二町の執行残を計上したものです。しかし、これまでの二町予算は、国の政治に追随し、医療改悪による住民負担の強化、また、国民健康保険料や介護保険料などの大幅値上げを進めていきました。

野並市議は、これまでの予算の継続ではなく、予算の基本を市民の暮らしを守ることを基本にすべきと求めました。国民健康保険では、社会保障制度の位置づけにふさわしく、医療費負担の軽減制度の実施や介護保険料でも減免制度の充実を求めました。

乙産工場団地のイオン進出問題では、地元業者や市民の立場に立った検討や工場団地造成時の違法な土地交換や特定企業への公費による橋設置の不当性を追及しました。

日本共産党議員団の所属委員会

小菅六雄
総務常任委員会
野洲川改修促進協議会
上水道運営委員会
御上会(野洲病院)評議員

野並享子
文教厚生常任委員会
男女共同参画審議会
国民健康保険運営協議会
悠紀会(にっこり作業所)評議員



やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会
2004年10月17日 2

市政へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 (住所)比江668-3 (TEL)589-4971 (FAX)589-6184
野並享子 (住所)北野1丁目7-10 (TEL)587-0985 (FAX)586-1102